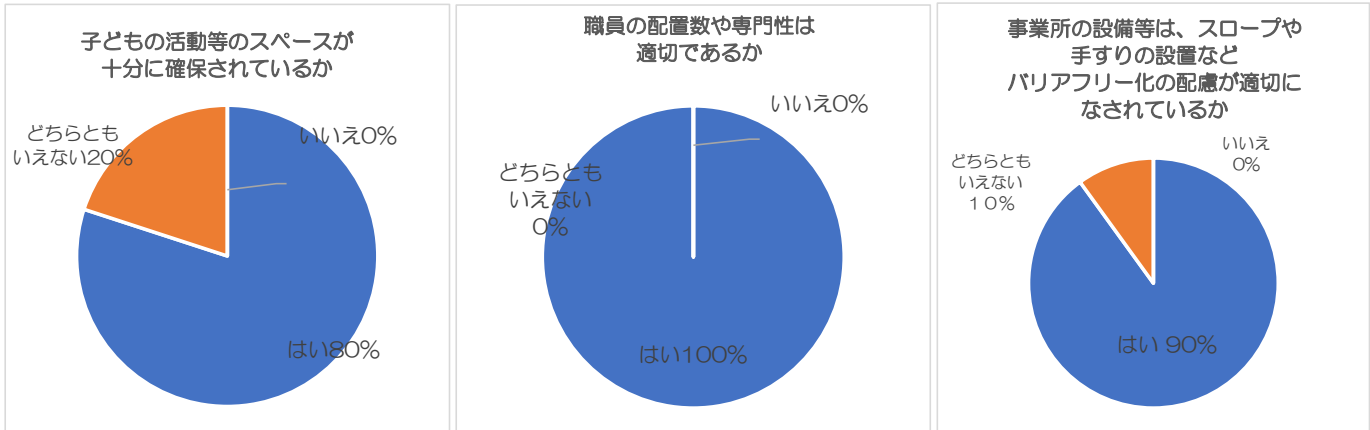


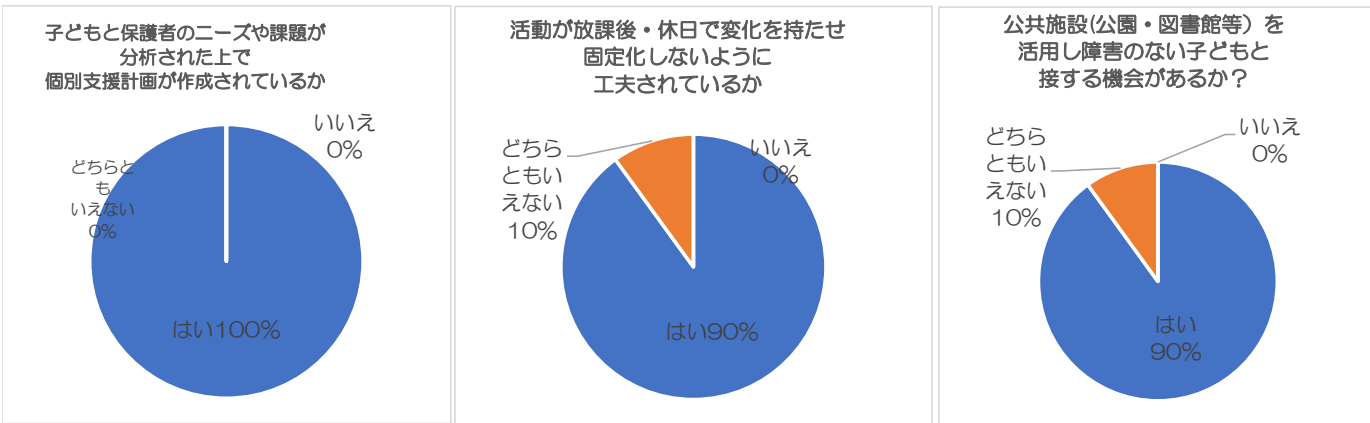
<環境・体制整備>



<環境・体制整備>

- ・活動スペースには限りがあるので日々整理や安全を十分配慮した活動に努めています。
 - ・バリアフリーについて、車椅子移動の入口やトイレ中心にスロープ・手すりを設置しています。
- お気付きの点がありましたらスタッフまでお声がけ下さい。

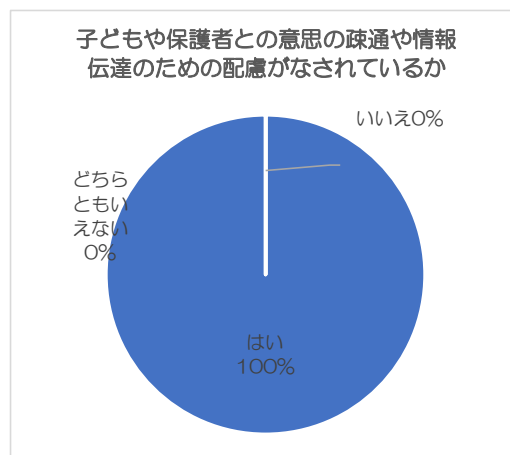
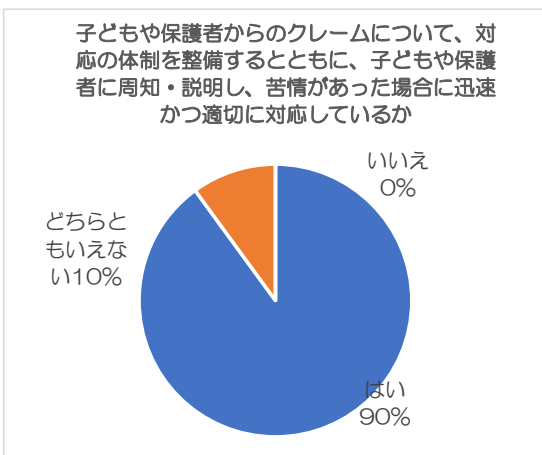
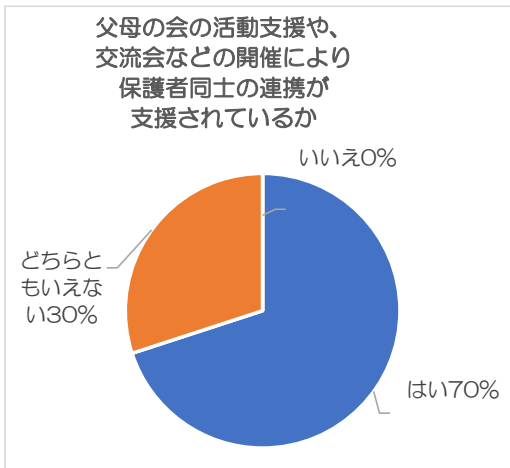
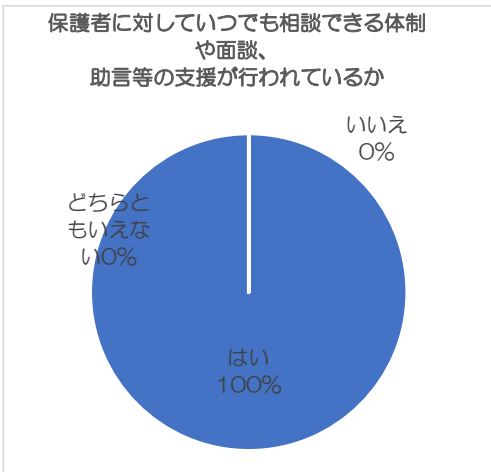
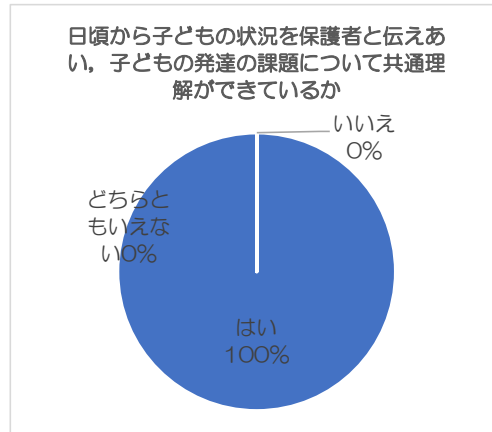
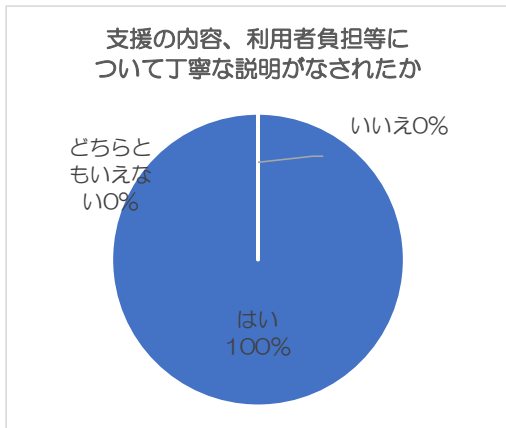
<適切な支援の提供>



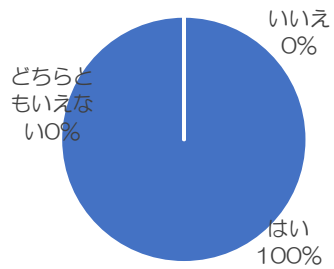
<適切な支援の提供>

- ・保護者の皆様のご協力でご計画～支援、モニタリングが滞りなく行われています。お子さんの小さな変化からご相談までいつでもご連絡ください。
 - ・学校休校日などの休日デイは図書館へ散歩、近隣公園・児童館には車で出かけたイベントに参加していましたが、コロナ禍で思うように外出ができなくなりました。できる範囲で近隣へ散歩等おでかけしたいと思います。
- 室内外での活動内容は『フレンズつうしん』の他Twitter等で配信していますのでぜひのぞいてみてください。

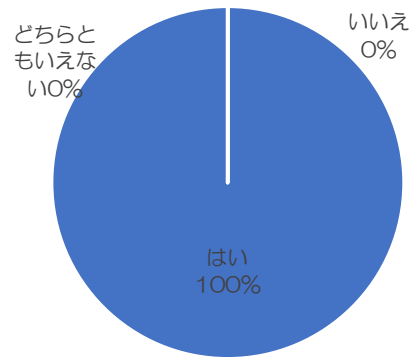
<保護者への説明等>



定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



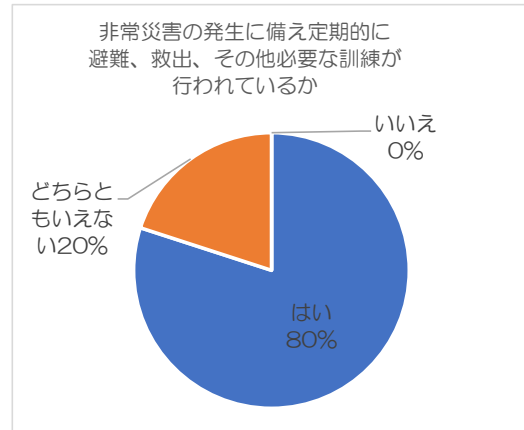
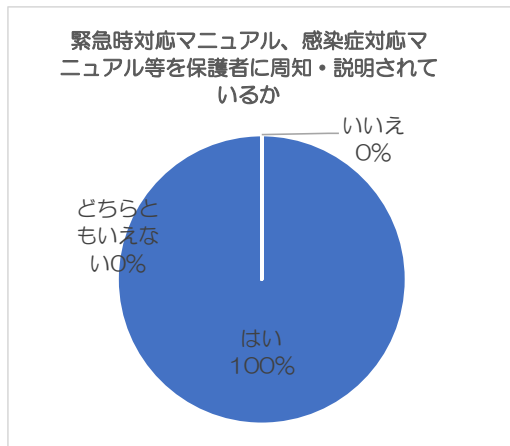
個人情報に十分注意しているか



<保護者への説明等について>

- 保護者の皆様とは送迎時または都度連絡を取り、良い活動になるよう 今後も情報共有して行きます。
- 毎年2回保護者同士とスタッフ交流『茶話会』を開催していましたが、コロナ禍で開催を見送っています。コロナが終息し再開しましたらぜひご参加お待ちしております。実施時期のご希望などございましたらお知らせください。
- 苦情窓口は直井又は中野へお願いいたします。
- 個人情報についての取り扱いは今後も十分取扱いに注意し、施錠保管しています。

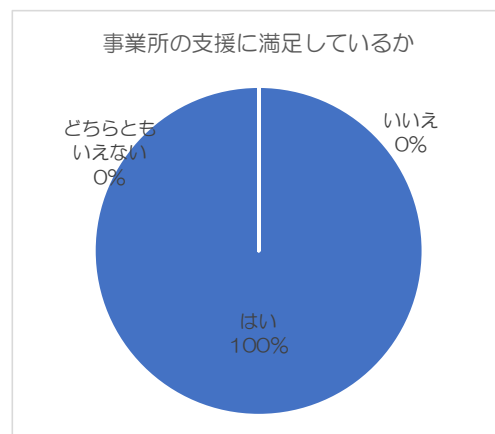
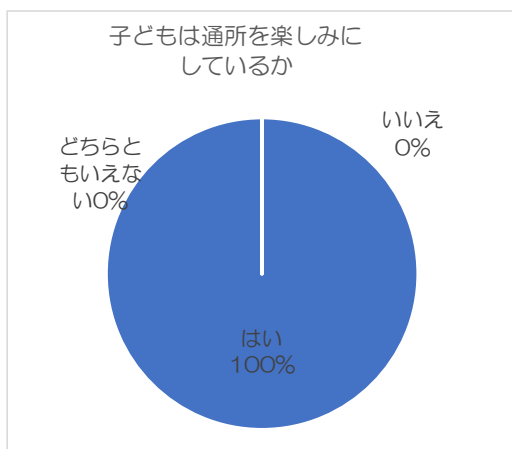
<非常時等の対応>



<非常時等の対応>

- 災害時のマニュアルについては契約時にお話しさせて頂いているため、保護者の皆様には周知・説明での認知度が高く、今後も徹底して行きたいと思っております。
- 定期的な避難訓練は年度末頃避難所である松戸駐屯基地への避難訓練を行い〈フレンズつうしん〉にてお知らせしています。どうぞご覧ください。
- また災害時の備えについては当日保護者との引き渡しを想定している為事業所としての用意はありません。
ご要望の場合はお子さんの食形態に合った食事、その他を各ご家庭でご用意して頂き1年毎の入れ替えでお預かりすることも可能です。 詳細につきましてはご相談ください。

<満足度>



令和3年度 自己評価表結果報

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	—	6	-	<ul style="list-style-type: none"> 狭いスペースでありながら工夫して支援出来ていると思う 車椅子や座位保持などの場所の確保がもう少しあったらよい
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	-	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	-	-	
業務の 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	-	-	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	6	-	-	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	-	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	—	<ul style="list-style-type: none"> 会社の意向を確認し今後の課題とする
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	—	-	<ul style="list-style-type: none"> zoomなどの研修会参加、または参加した者が内部研修会を行い共有している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	6	-	-	
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	-	-	
	⑪	活動プログラムの立案をスタッフ間で行っているか	6	-	-	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	-	-	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	—	-	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にモニタリングをし、作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	—	-	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	-	・ なにかあった場合はスタッフ間で共有ツールとして口頭や日誌の記入
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	-	-	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	-	-	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	3	-	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	-	-	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	-	-	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	-	相談員等と情報共有し、必要に応じて各機関と連携をとっている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	-	相談員を中心として情報共有により認知している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	-	市障害福祉課等の専門機関からのzoom研修を主とし受けている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	3	3	コロナ禍で児童館、地域の公共機関へ通う機会が減少している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	-	6	-	コロナ禍で協議会主催が減少しているが機会があれば参加したい
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	-	-	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	-	コロナ禍で茶話会が開催できないがモニタリングなど必要に応じ個々に対応している
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	-	-
		保護者からの子育ての悩み等に対する				

保護者への説明責任等	③①	保護者からの苦情や子どもの権利に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	-	-	モニタリングや必要に応じて電話面談など個々に対応している
	③②	父母の会の活動支援をしたり、交流会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	-	コロナ禍で今年度は茶話会が開催できなかったが状況をみて行う
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	-	-	送迎時や個々からの電話対応など必要に応じて行っている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	-	-	会報やTwitterなどで活動を発信している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	-	-	鍵のかかる書庫で、管理取り扱いを十分気を付けている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	-	-	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	-	コロナ禍で外部との交流はしていないが以前には読みがたり参加募集していた。現在子どもたちが作った作品を地域住民へ配布し、交流を図っている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	-	-	契約時に説明している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	-	つうしんなどで報告している
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	-	-	年1回の研修に参加している
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	-	-	必要に応じて
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	-	1	必要に応じて
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	-	-	